

# 第3次胎内市総合計画

## 胎内市の未来を考える市民ワークショップ

### 途中経過報告

#### 1. ワークショップの概要

##### (1) ワークショップの目的

第3次胎内市総合計画の策定に向けた、10年間の胎内市のまちづくりの方向性の検討にあたり、市民の皆様の目線から、胎内市の現状や地域を良くするためのアイデアなどを考えていただくために実施しました。

##### (2) ワークショップのスケジュール

全4回実施予定、うち令和7年度に2回実施

###### 第1回

日 時：令和8年2月27日（金） 18：30～20：00

場 所：胎内市役所

テーマ：「胎内市の“いいところ”」と「胎内市の“もっと良くしたいところ”」について話し合おう！

###### 第2回

日 時：令和8年3月26日（木） 18：30～20：00

場 所：胎内市役所

テーマ：「まちづくりビジョンゲーム」で10年後の胎内市の姿を描こう！

令和8年度実施予定

###### 第3回

日 時：令和8年5月実施予定

場 所：胎内市役所

テーマ：胎内市を“もっと深く”見つめてみよう！①

###### 第4回

日 時：令和8年6月実施予定

場 所：胎内市役所

テーマ：胎内市を“もっと深く”見つめてみよう！②

## 2. 各回の結果

### 第1回

#### テーマ

「胎内市の“いいところ”」と「胎内市の“もっと良くしたいところ”」について話し合おう！

#### 内容

##### ① 総合計画とは？今の胎内市について

- まずはまちづくり総合計画やワークショップの目的などを説明しました。
- その後、人口等の状況などについて説明し、胎内市の現状について理解を深めていただきました。

##### ② ワールドカフェ 「胎内市の“いいところ”」と「胎内市の“もっと良くしたいところ”」について話し合おう！

- 参加者の皆さんに3～4人のグループになってもらい、「胎内市の“いいところ”」「胎内市の“もっと良くしたいところ”」について自由に話してもらいました。その後グループを入れ替えて意見交換しました。



##### ③ グループワーク 「話し合った内容を振り返ろう！」

- 話し合った内容を踏まえて、特に大事だと思ったことや印象に残ったことをシートに取りまとめ、お互いに共有しました。



胎内市の“いいところ”  
(=強み)

- 自然が豊か** — 山・海・川・飯豊連峰など多様な自然景観が揃っている
- 食べ物がおいしい** — 米・野菜・山菜・さつまいも・フルーツなど農産品が充実
- 特産品が豊富** — チューリップ・米粉・さつまいもなどブランド力のある産品
- 人が温かく優しい** — 挨拶を返してくれる、声をかけ合う温かいコミュニティ
- 治安が良い** — 犯罪・盗難が少なく、安全に暮らせる環境
- 地域コミュニティが強い** — ボランティアや子どもの見守り活動が根付いている
- お祭り・イベントが楽しい** — 中条祭り・米粉フェスタ・いいもんマルシェなど
- 四季のレジャーが楽しめる** — 胎内スキー場・村松浜での釣りや海水浴など
- 優良企業・大企業が多い** — 先端技術を持つ企業が集積し、就業基盤がある
- 渋滞が少なく高速道路が近い** — 移動しやすいインフラ環境
- 歴史的・文化的な場所がある** — 価値ある観光資源が豊富
- 教育・スポーツ施設の基盤がある** — 総合体育館・高校・大学など文教基盤が充実
- ふるさと納税の実績が高い** — 外からも認められる魅力がある証拠

胎内市の“もっと良くしたいところ”  
(=弱み)

- 娯楽施設がない** — 若者が楽しめる場所が不足
- 商業施設・買い物場所が少ない** — 衣料品店やショッピングモールがない。また、夜まで営業している飲食店が少ない
- 医療施設が不足している** — 婦人科・小児科・産婦人科・皮膚科などの専門医療が少ない
- 交通の便が悪い** — のれんす号の運行時間が短く、料金が高く、荷物制限もある
- 中高生の居場所・勉強スペースがない** — 駅から学校の間で溜まれる・自習できる場所がない
- 情報発信・PR力が弱い** — 観光地・特産品・イベントなど魅力があるのにアピールできていない
- 働く場所(雇用)が少ない** — 特に若者が地元で働ける多様な選択肢が足りない
- 少子化対策が不十分** — 子ども・学生が減り続けており、子育て支援の強化が必要
- 空き地・空き家の景観悪化** — 草が生い茂り、道路の見通しも悪くなっている
- 行政サービスの改善が必要** — 市役所の開庁時間の延長やデジタル化が必要
- 害獣対策** — 出没が増えており、生活への脅威となっている



## 第2回

### テーマ

「まちづくりビジョンゲーム」で10年後の胎内市の姿を描こう！

### 内容

#### ① 前回の振り返り

- 第1回ワークショップで皆さんから出していただいた胎内市の"いいところ"と"もっと良くしたいところ"について、ニュースレターや意見一覧を使って振り返りました。

#### ② まちづくりビジョンゲーム

- 4～5人のグループに分かれ、「まちづくりビジョンゲーム」に取り組みました。まず、さまざまな写真の中からグループで話し合いながら、10年後の胎内市の姿をイメージする写真を4枚選びました。

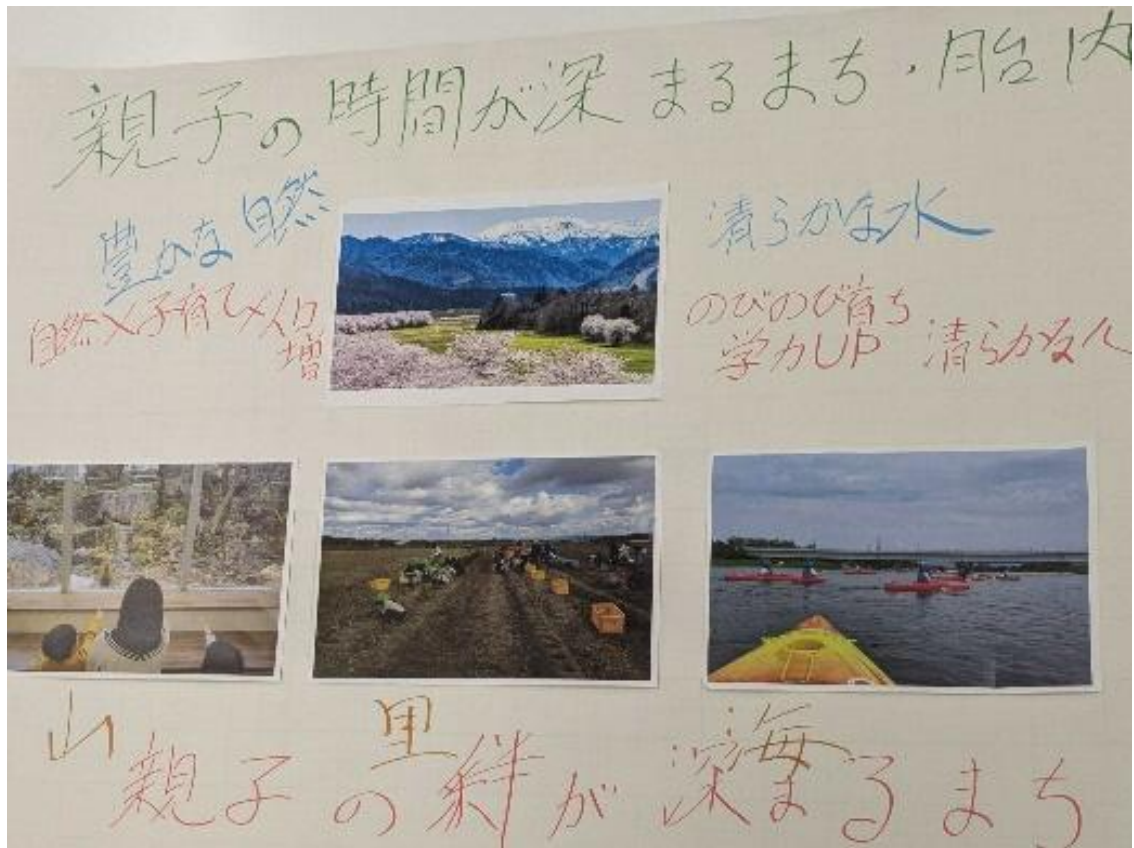


#### ③ まちの物語づくり&発表

- 選んだ写真をもとに、「10年後の胎内市がこんなまちになっていたら」という物語をグループで考え、模造紙にまとめました。最後に各グループが発表し、参加者全員でそれぞれの理想のまちの姿を共有しました。



グループ①



【発表内容】

「親子の絆が深まるまち、胎内」をテーマに、飯豊連峰や檜形山脈、千本桜といった豊かな自然を活かしたまちづくりを提案しています。山からの清らかな水がサツマイモなどの農業を育み、胎内川では子どもたちがカヌーを楽しめます。のびのびとした環境で学力や思いやりの心が育ち、親子の絆も深まることで、県外からも人が集まり人口増加につながるまちを目指します。

## グループ②



### 【発表内容】

「**にぎわう市**、**胎内市**」をテーマに、地元のもち米や素材を使った餅つき・そば作り大会で老若男女が交流を深めるところから物語が始まります。そこで出会った二人がチューリップウェディングで家族になり、女の子が誕生。犬も含めた家族みんなが幸せに暮らし、その子が将来市長に。10年後には人口5万人の豊かな市になりました。

### グループ③



#### 【発表内容】

「**自然と未来の調和**」をテーマに、胎内市の豊かな自然や伝統文化を守りながら、陸上・洋上風力発電などで安定した財政基盤を築いていくことを提案しています。自然の強みをもっとマーケティングしながら発信して交流人口を増やし、好循環を生み出しながら子どもからお年寄りまでが生き生きと暮らせるまちを10年先まで続けていきたいです。



## グループ⑤



### 【発表内容】

「胎内市ぐるぐる大作戦」は、チューリップや米粉、ワインなど地元の特産品を活かしたイベントで市外から人を呼び込み、訪れた人が街中の歴史やノスタルジーあふれるお店にも足を運ぶ流れをつくります。お店が盛り上がれば農業の作り手も元気になり、さらに新しいイベントが生まれて、また人が集まるという好循環を目指します。